

国連女性のエンパワメント原則 (WEFs) 年次会合参加報告

2018年7月27日

男女共同参画推進連携会議
経済分野における女性の活躍促進チーム

グローバル・コンパクト研究センター研究員
立命館大学法学部教授
国連WEFsリーダーシップグループ・メンバー
大西 祥世

報告の概要

I. 2018年WEPs年次会合

- 概要
- テーマ・主な論点

II. WEPsをめぐる最新の動向

- 含: 女性の経済的エンパワメントに関する各国の主な取組



ジェンダー平等の推進に優位性をおくトップにとって、WEPsは良いスタート地点となる。この枠組みはシンプルで、自社の状況に合わせて使えるからだ。

- ジョセフ・キーフ(パックス・ワールド・ファンド社CEO。WEPsリーダーシップグループ共同議長)
@2015年第7回WEPs年次会合



国連女性のエンパワメント原則 (WEPs)

UN WomenとUNGCの共同イニシアティブ

まず社内から

① トップのリーダーシップによるジェンダー平等の促進

② 機会の均等、インクルージョン、差別の撤廃

③ 健康、安全、暴力の撤廃

④ 教育と研修

⑤ 事業開発、サプライチェーン、マーケティング活動

⑥ 地域におけるリーダーシップと参画

⑦ 透明性、成果の測定、報告

今、ここで何をすべきか。

それは、スマートな企業、スマートな政府の実現である。WEPsにはその知恵が詰まっている。

– ヒラリー・クリントン元米国国務長官

@2015年第7回WEPs年次会合



ステークホルダーと地域

次のステップへ

2018年WEPEs年次会合(第10回)の概要

- 日時: 2018年3月15日(木)15時~18時
- 場所: 国連本部(米国)経済社会理事会会議場
- 参加者: 約500人(招待者に限定・CSWサイドイベントとして開催)
 - 国連機関: アミーナ・J・モハメッド国連副事務総長、リセ・キンゴUNGC事務局長、プムズイレ・ムランボ=ヌクカUN Women事務局長 等
 - 民間企業CEO、役員等
 - 政府機関
 - 国際NGO、研究機関、市民社会
 - 日本からの参加者
 - 大西祥世、福田加奈子氏(住友化学CSR部長)、平松昌子氏(日本BPW連合会理事長) 等



※ これまでの年次会合は2日間で開催されることが多かったが、2018年は半日間に 4

テーマ・主な論点

- 女性の経済的エンパワメントの推進
 - 男女間の、賃金格差や資金力格差の解消【WEPs原則②に関連】
 - 社会的にインパクトをもたらす投資／投資家の役割【WEPs原則⑤に関連】
 - 2015年以降毎年、3月8日の「国際女性デー」を記念して各国の証券取引所「Ring the Bell」イベントを開催
 - 2018年は世界60か所で開催（東京証券取引所は2018年に初参加）
 - 調達（公共調達、バリューチェーン）【WEPs原則⑤に関連】
 - 政府も民間も、契約やビジネスを用いて、女性起業家や取引先企業における女性のエンパワメントの取組を推進・・・WEPsの副題「平等推進はビジネスそのものです」

- 職場における女性に対する暴力撤廃、#MeTooキャンペーン【WEPs原則③に関連】
- ジェンダー・パリテ
 - 取締役クオータや女性の管理職割合の目標値を定めて、意思決定過程のジェンダーバランスを図る【WEPs原則②に関連】
- 国連持続可能な開発目標とあわせて推進
 - 目標5「ジェンダー平等」×他の目標との相乗
 - 各国政府、小規模企業から多国籍企業...も実施する役割を有する



[参考]国連持続可能な開発目標(SDGs)

- 2015年に国連で採択。17つの目標、169のターゲット(2030年まで)



WEPsをめぐる最新の動向

- 国連での事務局がUNGCからUN Womenへ移管
 - WEPs GATの事務局はUNGCのまま
- 「WE EMPOWER」プログラム：UN Women、ILO、EUの三者間の連携の強化
 - 2018年G7サミット（議長国：カナダ）への期待
 - G7サミット首脳宣言フォローアップ会議の開催（2018年3月14日、於：UN Women本部）
 - カナダ政府は、首脳会合および各閣僚会合における「ジェンダー平等」の主流化をめざし「Gender Equality Advisory Council」を設置
 - SDGs推進への貢献
 - とくに、目標4（質の高い教育）、目標5（ジェンダー平等）、目標8（ディーセントワーク）、目標17（パートナーシップ）

- WEPs参加企業数：1809社（2018年3月17日現在、前年比+362社）
 - 多い順：トルコ260社、日本234社、ブラジル158社

〔参考〕2018年7月20日現在のWEPs参加企業数：1919社
- SDGs推進との関連への強い意識
- セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力撤廃への共感
- 引き続き、企業が政府、自治体、市民社会等ステークホルダーと連携して行うことにより実現できることを強調
 - 公共調達、バリューチェーン
 - 投資による社会正義の実現

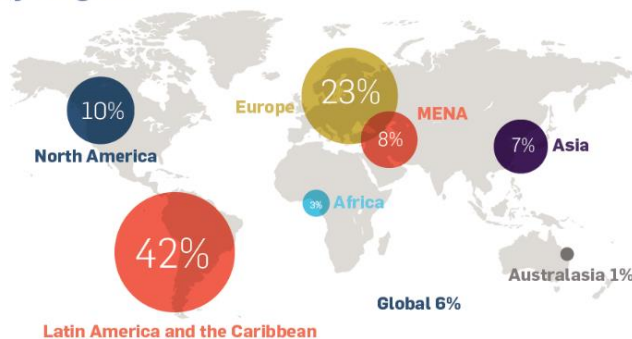
WEPs ジェンダーGAP分析ツール(GAT)

報告書の発行

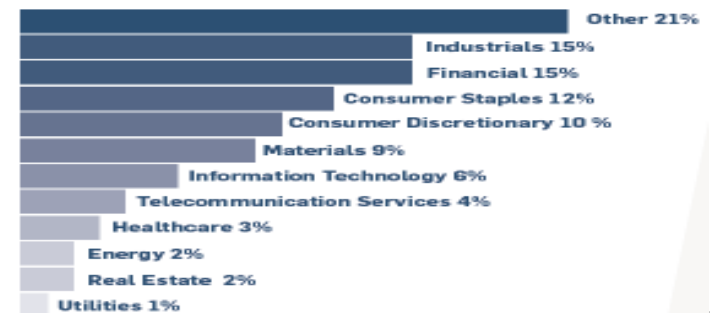
- 平均スコアは26.6%
 - 4段階のうち「初級」が60%
 - 4分野では、リーダーシップ31%、職場30%、市場17%、地域19%
- 国連WEPsチームは、国別、業種別にした集合データを把握(企業名は匿名)
 - 地域: 中南米42%、欧州23%、北米10%、中東8%、アジア7%
 - 業種: 製造業15%、金融業15%、食品・生活必需品12%、一般消費財・サービス10%、その他21% 等



Users by Region



Users by Industry



[参考] WEPs ジェンダーギャップ分析ツール (GAT)

- <https://weps-gapanalysis.org/>
 - 「Take the WEPs Tool」から登録し、無料で利用できる
 - WEPs参加企業、未参加企業、Non Businessも利用できる
 - 質問は、リーダーシップ、職場、市場、地域の4分野
 - 関与の表明、実行、進捗の測定、透明性の4段階評価



- 個別の回答は、その回答者のみが閲覧可能
 - 国連WEPsチームは、国別、業種別にした集合データ(回答企業名は匿名)を把握
- 自社の進捗状況を測ることができる

WEPs Gender Gap Analysis Tool
From Principles to Practice

United Nations Global Compact | UN WOMEN | IIC | UN Women

OVERVIEW TAKE THE WEPs TOOL RESOURCES TRANSLATE YOUR ACCOUNT

18. Does your company have an approach to embed gender in corporate social responsibility activities, philanthropy, public advocacy, and partnerships?

No, our company currently does not have an approach, but:

Yes, our company has an approach to embed gender in corporate social responsibility activities, philanthropy, public advocacy, and partnerships.

Check all that apply.

Commitment

Has a stand-alone policy or a commitment embedded in a broader corporate policy that addresses embedding gender in corporate social responsibility activities, philanthropy, public advocacy, and partnerships

Leadership and Strategy ✓
Workplace ✓
Marketplace ✓
Community 2/2

Why This Matters
Business can have an important voice in public policy and community development by advocating for the rights of women and girls. Companies can also support organizations or systems that advance gender equality through corporate initiatives and programs. Finally, taking a public stance in support of women and girls has reputational benefits for companies and can strengthen relationships with communities companies work with.

女性の経済的エンパワメント・各国の主な取組

- 「無意識のバイアス」への対応【WEPs原則②に関連】
 - 経済的エンパワメントをめざす法制度
 - インクルージョンの重視
- 具体的な取組および政策・方針
 - 報告・情報公開の義務づけ【WEPs原則⑦に関連】
 - 男女の賃金格差の解消をめざす【WEPs原則②に関連】
 - 取締役クオータの導入【WEPs原則②に関連】
 - 「遵守」か「説明」か
 - 調達の活用【WEPs原則⑤に関連】
 - 公共調達
 - サプライチェーン・マネジメント、CSR調達